

経済振興委員会報告資料

ボートレース福岡 第3次経営計画(案)について

令和8年2月
経済観光文化局

第1章 趣旨

ボートレース福岡では、平成28年度に特別会計から地方公営企業会計に移行する際、ボートレース事業の経営状況を的確に把握し、持続可能な経営を行うため、第1次経営計画を策定し、以後5年ごとに計画を見直しています。

令和7年度に第2次経営計画が最終年度を迎えたことから、引き続き、公益事業の振興と市財政への貢献という使命を達成するため、令和8年度から12年度までの5年間を計画期間とする第3次経営計画を策定します。

第2章 現状と課題

1 売上及び来場者数

直近4年間（令和3～6年度）のボートレース福岡開催レースの年間平均売上額は762億円で、第1次計画期間（平成28～令和2年度）の平均495億円と比べ約1.5倍に増加しています。売上の維持・向上に向けた取組みが引き続き求められます。

来場者数は、電話・インターネット投票の普及により長期的には減少傾向にあるものの、令和3年度以降は毎年37万人台を維持しており横ばい傾向にあります。都心立地を生かした集客力の強化が、今後も重要な課題です。

2 ボートレースのイメージ

場内の明るい雰囲気づくりや選手の魅力発信など、イメージ向上に向けた取組みを進めてきた結果、来場者の満足度（「満足」または「どちらかといえば満足」）は83.2%と高い水準となっています（令和7年9月アンケート調査）。

一方で、ボートレース場に行ったことがない人の理由として、「ギャンブルのイメージが強く抵抗がある」（39.6%）や「興味がわからない・面白そうに感じない」（32.7%）などの声が多く（同調査）、ボートレースに対する抵抗感や関心の低さが来場の主な障壁となっています。

3 施設の維持管理

第2次計画期間中に、中央スタンドの空調設備の更新や照明設備のLED化を行うとともに、第1立体駐車場の大規模な改修に着手するなど、施設の機能向上に向けた取組みを進めてきました。

一方で、昭和57年に竣工した競技棟をはじめ老朽化が進む施設・設備は依然として多く、持続的かつ安定的なレース運営や顧客満足度の向上のためには、引き続き適切な維持管理・更新が不可欠です。

4 顧客ニーズへの対応

アンケート調査を通じて顧客ニーズの把握に努めているものの、その結果に基づいた効果的な施策の実施が十分といえません。

持続的なボートレース事業の実施のためには、経費節減に継続的に取り組みながら、顧客満足度の一層の向上を図ることが必要です。

5 繰出金による社会貢献の認知度

直近4年間（令和3～6年度）の繰出金は平均40億円と安定的に拠出している一方で、ボートレース福岡の収益金がまちづくりに活用されていることを「知らない」と答えた人が約半数にのぼっており（令和7年9月アンケート調査）、収益金の使途や社会的意義が市民に十分伝わっていません。

第3章 経営方針

経営理念

レジャー感覚で気軽に訪れることができる都市型ボートレース場として、来場そのものが楽しい体験となる空間を創出し、スポーツとしての迫力や感動を提供しながら、安定的な収益確保による福岡市財政への持続的な貢献を通じて、市民生活の質の向上に寄与します。

主要施策1 来場者増加と売上の維持・向上に向けた取組み



(1) 集客イベントの充実

- ・ ファミリー層や若年層をはじめ幅広い世代を対象とした多様なイベントを展開
- ・ 初心者教室やピット観戦ツアーなど、初来場者から長年のファンまで楽しめる機会を提供

(2) パークを活かした魅力発信と来場促進

- ・ ボートレースパーク（仮称）において、ボートレース場内のイベントと連動した企画や大型ビジョンを活用した情報発信などを行い、ボートレース場への来場を促進

(3) 外国人観光客への対応

- ・ 英語や中国語、韓国語など多言語による情報提供を充実
- ・ 観光関連事業者との連携のあり方や周知方法の検討を進め、ボートレース福岡の魅力を海外に発信

(4) 快適で魅力ある観戦体験の提供

- ・ 快適で清潔な環境の維持と安全管理の徹底により、秩序ある運営を推進
- ・ 初心者や外国人にも分かりやすく丁寧に対応できる案内・接遇体制を充実
- ・ ここでしか味わえない体験などを取り入れ、ボートレース福岡ならではの特色づくりを推進

(5) キャッシュレス投票の促進

- ・ 舟券購入時の混雑緩和や利便性向上に向けたキャッシュレス投票の利用促進

(6) 魅力あるレースの提供

- ・ SG・PGI などグレードの高いレースの誘致を継続的に推進
- ・ 企画レースや地元選手による特選レースの実施など、番組編成を工夫

(7) 売上効果の高い開催日程の編成

- ・ サマータイムレース（薄暮レース）の日程を最大限確保
- ・ 他場との発売時間の重複回避への取組み

(8) 効果的な広報の実施

- ・ WEBやSNS、各種メディア、パブリシティ等を効果的に活用した広報
- ・ 市のイベントとの連携によるPR強化

(9) 予想に役立つ情報発信の充実

- ・ 競走水面やレース傾向などボートレース福岡の特徴を分かりやすく伝える情報発信
- ・ 予想番組の生配信やピットレポート等による予想支援コンテンツの充実

(10) 選手の魅力発信によるファン拡大

- ・ 選手の個性や魅力を伝える情報発信
- ・ フレッシュルーキーなど若手選手の積極的な広報

(11) 他場や場外発売場への営業強化

- ・ ペラボート福岡における他場開催レースの舟券売上実績の高さを強みにした、他場や場外発売場に対する福岡開催レースの営業強化

(12) 他場開催レースの発売強化

- ・ ペラボート福岡における他場開催レースの発売場数拡大



主要施策2 地域貢献

(1) パークを活かした地域に開かれた空間づくり

- ・ 子どもの遊び場の提供
- ・ スケートボード場の適切な管理運営
- ・ 事業者や地域団体等によるイベント広場活用の促進

(2) 感謝イベント等の実施

- ・ 地元産品や各地の特産物を廉価で販売するイベントの実施
- ・ レース非開催日におけるボートレース場の無料開放イベントの実施

(3) 文化・スポーツの振興

- ・ Fukuoka Art Nextとの連携によるアートを活用した新しいボートレースイメージの創出
- ・ 地域プロスポーツチームとのタイアップによる共同PRやイベント開催

主要施策3 施設の適切な維持管理及び運営



(1) 競技棟の建替え

- ・ 選手の快適な競技環境を整えるため、老朽化した競技棟の建替えに向けた検討と整備を推進

(2) 計画的な施設整備と維持管理

- ・ 各種施設・設備の老朽化や使用状況を踏まえた計画的な施設整備と維持管理
- ・ 整備計画の適宜見直しによる長寿命化と維持管理コストの最適化

(3) 来場者目線に立った施設環境の改善

- ・ 案内表示の工夫や場内装飾など、来場者の視点に立った快適で分かりやすい施設環境づくり

(4) 施設活用の最大化

- ・ 第1立体駐車場を、都心部への自動車流入抑制を目的としたフリンジパーキング事業等に活用するなど、市の施策への協力を継続
- ・ 特別観覧施設「ROKU」や場内空きスペースの活用方法を検討

主要施策4 経営改善に向けた取組み



(1) 顧客ニーズの把握と経営への反映

- 定期的なアンケート等の実施による顧客ニーズの把握と分析結果をもとにした改善への反映

(2) 施設の維持管理費の削減と運営の効率化

- 来場者数に応じたスタンドの効率的な運用による維持管理費削減と運営効率化

(3) 職員の育成

- 各分野に応じた研修機会の確保と計画的な育成
- 業界団体研修への参加を通じた先進的取組みや動向の把握

(4) 業界団体による支援策の活用

- 販売促進や施設整備に対する業界団体の支援事業による金銭的支援の活用

(5) 地方公営企業法の全部適用の検討

- 将来的な組織運営のあり方を見据え、地方公営企業法の全部適用について、その効果や影響を踏まえながら慎重に検討

主要施策5 社会的責任を果たすための取組み



(1) 一般会計への繰出し

- 将来的に必要な施設整備等にかかる費用を考慮のうえ、事業の安定的な運営を前提とした、可能な限りの額を一般会計へ繰出し

(2) 社会貢献についての広報

- ボートレース事業の収益が地域の発展や市民生活の向上に寄与していることを周知し、事業の公共性や社会的意義への理解を促進

(3) ギャンブル等依存症対策の推進

- 公営競技の施行者としての社会的責任を踏まえ、相談対応や入場制限等を適切に実施し、業界団体との連携や福岡県ギャンブル等依存症対策連携会議への参画などを通じて、ギャンブル等依存症対策を総合的に推進

(4) 脱炭素社会への貢献

- 再生可能エネルギー由来電力の調達継続、太陽光発電設備の導入検討
- 業界全体で進められているE30燃料（エタノール30%配合ガソリン）の導入等による環境に配慮したボートレース場運営

(5) 災害発生時の施設活用

- 大規模災害発生時における帰宅困難者受入施設としてのボートレース場の活用

1 目標

施策の成果を検証できるよう、下記のとおり成果指標を設定します。

成果指標	現状値	目標値
総売上（※1）	870億円（令和4～6年度平均）	900億円（令和8～12年度平均）
繰出金	5年間で135億円（第2次経営計画）	5年間で180億円（令和8～12年度合計）
来場者数（※2）	57万人（令和7年度推計）	60万人（令和8～12年度平均）
来場者満足度	83.2%（令和7年9月調査）	85%（令和12年度）
社会貢献認知度	51.8%（令和7年9月調査）	75%（令和12年度）

（※1）総売上とは、福岡市主催レースの売上、福岡都市圏広域行政事業組合主催レースの受託売上、他場開催レースの受託売上の合計を指す。
（※2）来場者数については、令和7年9月から外向発売所の来場者を含めて集計する方法に変更した。現状値57万人は、当該集計方法を令和7年度当初から適用した場合の推計値である。

2 財政収支計画（令和8年度～令和12年度）

本計画期間における売上の見込みは、【表1】のとおりであり、これを踏まえた収支の見通しは、【表2】のとおりです。

【表1】売上見込み （単位：百万円）

区 分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
総 売 上	87,067	88,352	92,111	89,127	93,360	450,017

【表2】財政収支計画

■ 収益的収支 （税込、単位：百万円）

区 分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
収 益 的 収 入	73,156	74,447	78,292	75,077	79,464	380,436
収 益 的 支 出	69,335	70,304	73,911	70,935	74,978	359,463
収 支 差 引	3,821	4,143	4,381	4,142	4,486	20,973

■ 資本的収支 （税込、単位：百万円）

区 分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
資 本 的 収 入	300	0	0	0	0	300
資 本 的 支 出	5,964	4,777	4,774	5,024	4,559	25,098
建設改良費等	1,964	1,277	1,274	1,524	1,059	7,098
一般会計繰出金	4,000	3,500	3,500	3,500	3,500	18,000
収 支 差 引	△ 5,664	△ 4,777	△ 4,774	△ 5,024	△ 4,559	△ 24,798
補 て ん 財 源	5,664	4,777	4,774	5,024	4,559	24,798